

平成29年度実績に係る部局評価書

部局名:サイバーメディアセンター

【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
A	A	A

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
		情報処理教育のための新たなビデオコンテンツの作成や、出身高校による情報処理教育理解度の差異を解消するための新たな教材の導入などを行った。また、VDI技術を用いた情報教育システムの拡充を行い、ライセンス数を600から820まで拡充し、一般教室での利用が可能な環境の整備を進めたことが評価できる。
【研究】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		データバリティフロンティア機構のサービス創出・支援部門と協力し、センサー環境の設計、構築を行い、その研究成果の一部について報告を行った。また、NEC共同研究部門と応用情報システム研究部門との連携により開発された技術を活用した歯学部附属病院との共同研究を加速させ、その成果が報道にも大きく取り上げられたことが評価できる。
【社会貢献】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
		データセンターの抜本的省エネに関するオープンイノベーション型のコンソーシアムを推進し、エネルギー効率で世界記録を達成したことが評価できる。
【グローバル化】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【業務運営】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
		スーパーコンピュータOCTOPUSを導入し、当初予定性能1PFlopsを大幅に上回る1.4PFlopsのピーク演算性能を達成したことが評価できる。

【評価区分2:「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p>【評価コメント】 共同研究・受託研究の受入について、共同研究契約を締結はしていないが、共同研究実績が認めれるとともに、企業との協働研究所を設置するなど共同研究の増加に取り組むことで実績を向上させたことが評価できる。 また、外国籍教員の割合については、教員の職階問わず、すべて国際公募を実施することで実績を向上させたことが評価できる。</p>
